

中部の世帯・人口から見た分団及び団員数の現状

(平成22年4月1日現在)

	面積	世帯数	人口	消防団員一人当たり人口	条例定数	実員数	分団数	消防ポンプ車数 (水槽付含む)
倉吉市	272.15	20,422	51,340	92	605	559	16	4
湯梨浜町	77.95	5,895	17,739	101	193	175	10	10
三朝町	233.46	2,637	7,357	22	366	336	23	5
北栄町	57.15	5,181	16,283	164	100	99	5	5
琴浦町	139.89	6,411	19,376	121	163	160	10	10
合計	780.6	40,546	112,095	84	1,427	1,329	64	34

1. 常備消防の状況

	人員	普通ポンプ車	水槽付きポンプ	はしご車	化学車	救助工作車
消防局	30					
倉吉消防署	29	2	2	1		1
西倉吉消防署	25	1			1	
羽合消防署	25	1	1			
東伯消防署	27	1	1			1
計	136	5	4	1	1	2

管轄

北条地区 羽合署 …… 2隊 …… 常時8～9人で2台消防車を運用
 大栄地区 東伯署 …… 2隊 …… 常時8～9人で2台消防車を運用

出動…………… 最先着(早く行ける署)北栄町は各消防署から遠い

羽合署 …………… 北条・東園・穂波・原
 東伯署 …………… 大栄(東園・穂波・原除く)
 西倉署 …………… 米里

2. 町消防の必要性

- ・災害対応については、常備消防だけでは対応できない。
- ・災害対策基本法・国民保護法に基づく町長命令で出動できるのは町消防団だけ。
- ・水防団の役割
- ・初期消火
- ・常備消防の後方支援(砂丘地や、山林等水利のないところでの中継、2台3台と中継する場合がある)
- ・残火整理・警戒
- ・行方不明者の搜索
- ・震度6強だと天神橋の橋が落下し、倉吉・羽合署から来れない可能性がある。
- ・同時多発火災が発生すると、常備消防は限られており、町消防が頼り。
- ・北栄町には消防署、出張所がなく、三朝町とおもに中部広域消防の空白地域といえる。
- ・倉吉市、湯梨浜町、琴浦町に比べて消防署が最も遠い地域といえる。

消防組織機構図

広域消防

(中部ふるさと広域連合)

倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町

北 栄 町

